



We Serve

# 紫陽

ライオンズクラブ国際協会 333-C 地区

## 地区ニュース

1990 ~ 92 No. 5 1992年4月15日発行



友情の絆で拡げる まごころ奉仕

# 目 次

● 鉢の木	地区ガバナー L. 吉田 政勝	1
● 千葉幕張メッセLCチャーターナイト		
感激のチャーターナイト	千葉幕張メッセLC会長 L. 白井日出男	2
千葉幕張メッセLCのCN開催さる千葉LC会長	L. 霜 礼次郎	3
メータ国際第一副会長公式訪問に参加して 2 R R C L. 鈴木 行正		4
● 第3回キャビネット会議報告	地区幹事 L. 渡辺 慎	6
● 哀悼 故L.藤田定男 名誉顧問	地区ガバナー L. 吉田 政勝	7
● 千葉県高等学校弁論大会を終えて		
弁論大会委員長 L. 石井 三郎		8
● マレーシア308B地区訪問 地区Y.E特別委員 L. 青木 孝		8
● 相互理解の精神 地区国際協調LCIF委員長 L. 山内 克巳		12
● リジョンの頁 (4 R)		15
新入会員研修会 銚子LC 佐原 LC 東庄LC 神崎LC 大栄LC		
栗源LC 銚子中央LC 八市場LC 旭LC 総武中央LC		
飯岡LC 多古LC 干潟LC 山田町LC 光LC		
● リジョンの頁 (5 R)		24
木更津中央LC 富津LC 上総LC 君津LC 君津中央LC		
● 活動するライオンズ		27
市川LC 柏中央LC 船橋LC 船橋ポートLC		
習志野LC 船橋東LC		
● 春夏秋冬 2 R PR情報委員 L. 桜井 留治		30
● 編集後記 地区PR情報委員長 L. 蒔田 辰男		31

# 鉢 の 木

地区ガバナー L. 吉 田 政 勝

私の趣味に謡、謡曲があります。謡曲は180曲ほどあり、何れも名曲ぞろいです。その中に名曲中の名曲「鉢の木」があり、これは曲のすばらしさもさることながら、私にライオニズムを教えていると思っております。この「鉢の木」について簡単にご紹介申し上げます。

時の鎌倉幕府の御大将北条時頼が僧となり諸国を修行して歩いておりました。とある時大変な大雪にあい大吹雪となって道なき道を歩かねばならず、日は暮れ、空腹で疲れ果て何とか泊めてくれる民家を探しておりました。ようやくみつけた民家に一夜の宿を乞うたのですが、こゝの主人は大変貧乏で自分が食べるにもこと欠く位でしたので宿を断わられてしまいました。止むを得ず北条時頼は困り果て乍ら、とぼとぼと道なき道の暗い吹雪の中を歩いて行かねばなりませんでした。みるとみかねた主人が呼びとめ泊めてあげることになりました。この主人こそ佐野の源左衛門常世であり、領地を一族に横領され零落した姿がありました。その夜は余りの寒さにもかゝわらず、たくものもなく秘蔵していた梅・桜・松の鉢の木を切って焚き火にして暖をとりもてなしてやりました。そのお話の中で彼は現在いかに落ちぶれているとは言え、鎌倉幕府に対する忠節は忘れてはおらず、「今にてもあれ鎌倉に御大事いでくるならば、ちぎれたりとも此具足投って投げかけ、鎧びたりとも長刀を持ち、やせたりともあの馬にのり、いの一番に馳せ参じまするぞ」と忠義の心を披瀝するのでありました。

一方北条時頼は鎌倉に帰り佐野源左衛門の忠義の心をたしかめんためと関八州の諸大名が自分に忠節をつくすか否かをたしかめんために

「いざ鎌倉」であるぞと号令をかけたのであります。関八州の諸侍が金銀入りの具足をつけ、立派な太刀をもち、飼いに飼うたる馬にのり鎌倉に上る中に、ちぎれた具足に鎧びた長刀をもち、やせ細った馬に乗った佐野の源左衛門の出陣姿がありました。北条時頼は之をみつけて「やあーいかにあれなるは佐野の源左衛門常世か、我こそはいつぞやの大雪に宿借りし修行者



よ見忘れてあるか」という事で再会を喜びあい、北条時頼はその時の恩に報ゆるべく、その時の鉢の木梅桜松にちなんだご褒美を沢山あげたのであります。

この物語は北条時頼の佐野源左衛門より受けた恩に報ゆる報恩と、佐野源左衛門がいかに落ちぶれても忠義の心を忘れない、忠義と報恩をほめたゝえたものであります。私はこの忠義も報恩も誠に結構なお話ですが、それよりも佐野源左衛門が食べてもゆかれない状態であり乍ら、自分よりも困っている人に愛の手をさしのべてやるという心に感激をするのであります。之こそ人道主義にもとづくライニズムそのものであると思います。

日の当らない恵まれない人々に愛の手をさしのべ、明るい社会を創る為に、温かい思いやりのあるまごころ奉仕にご精進下さるようお願い申し上げます。

## 千葉幕張メッセLCチャーターナイト

# 感激のチャーターナイト

千葉幕張メッセLC 会長 L. 日出井 田

カーンと閉会の点鐘を思いっきり叩くと、今までの緊張の糸がきれて体から力が抜け出るような感じがした。

しばらくして「あ々、まだ祝宴があるんだ」と我にかえった。

数千人のパーティーを主催した事もあるが、それとは又違った緊張感が、ずうっと続いていたのだ。なにしろ、マニュアルなるものが存在して手抜きが出来ない…、正月休みを中心に挟んで準備日数が少ない…、あまりにやらねばならない事が多岐にわたっていて、真面目に出席する会員に否応なしに役職をお願いすることとなった。

例会打合せでも、担当者から「これはどうしたら良いですか?」と質問がある度に、「お任せします。」「全てお任せしますから、よろしく!」と笑い話のような問答が繰替えされた。

降って湧いたような突然の仕事を的確に次々と処理していく会員のあざやかな仕事振りは、式典の際の挨拶の中でも述べたように、先輩クラブのお力で、本当に良き仲間と集う事が出来てうれしく、感謝する次第です。

一方、会合毎に参加人員がどんどん増え続けた。

当初の三百人から三百五十人、三百九十人…四百人を越えた頃には腹が据わってきた。

結局四百五十九人の参加者を得て、華やかで素晴らしい認証状伝達式の挙行となった。

こうしたうれしい誤算の中でも、どんどん会場を広げて無事に開催する事が出来たのは、会場となった県下最大の宴会場を有する幕張プリンスホテルならではのことだった。

ここで改めて、本来なら冒頭で申し上げるべき、ご来臨賜わった沼田武千葉県知事をはじめご来賓の各位、333-C地区吉田政勝ガバナーをはじめ各ライオンズクラブのメンバー、特に当日会場運営にご奉仕頂いた京葉ライオネスクラブのみなさんの暖かいお心に対し厚く感謝申し上げる次第です。

また、記念誌は“永久保存版”の意気込みにふさわしい誠に立派なものが出来上がった。東洋一を誇るメッセを中心とする幕張新都心の威容や、かつての漁師町であった頃の遠浅海岸や「打瀬舟」などのなつかしい写真は、将来に貴重な贈り物となったと信じている。

今後とも先輩クラブ諸兄の一層のご指導をお願いしてご報告と致します。



## 千葉幕張メッセLCの チャーターナイト開催さる

千葉LC 会長 L. 霜 次郎

昨年5月、三役研修会に於て当時次期ガバナーL吉田政勝により、次期キャビネットの運営方針が述べられた。その内容は、大変アクティブで「よし、やってやろう」という気構えができあがった。又、千葉県下のLCの状況について全国と比較し、数字をあげて細かく述べられた。我々の属している県都千葉市が、全国の県庁所在地の中で、その人口比に対してのLメンバーが、最も低値を示しているのには、我ながら愕然とした。ここで次期ガバナーの10項目の方針の1つであるEXTをやらなければならないと決意した。早速例会に諮り近い将来EXTをするという同意をとりつけた。

さて、いつEXTをするかという事になると、3年後に我がクラブは30周年を迎えるにあたり、その事業として誠にふさわしいEXTになると私は考えた。早速EXT準備委員会を結成、検討を開始した。次いでEXT委員会ができ、委員長にL岡野正義が就任され活発な運動が展開されていった。年度が変わり私が



We Serve



会長になった時、市内クラブの三役会でEXTの意向を打診した所、各クラブ三役が異口同音、本年度中に結成すべしとの積極的合意が得られた。EXT委員会は頻繁に開催され、結成式の時期、キー メンバーの決定、そして何処に作るかという事について熱心な討議が繰り返された。この結果、私共のクラブの臼井の弟、衆議院議員臼井日出男氏を会長、第一副会

長に元ガバナー石橋光氏ご子息の石橋凱夫氏、そして幹事に当クラブL佐瀬喜一のご子息佐瀬俊之氏をキー メンバーとし、チャーターメンバーの人選に入った。幸い千葉LCの全メンバーの熱心なバックアップにより、39名の推薦を受ける事ができた。

平成3年10月17日に、極めて短期間で設立準備が整い無事結成式を挙げる事ができた。感激の一瞬であった。その名称は、会長及び第一副会長など多くのメンバーが在住する幕張及び幕張メッセ地区に相応しい、千葉幕張メッセLCと命名された。

本年2月16日、幕張プリンスに於て、チャーターメンバーも47名と増え、全国で最も発展著しい幕張メッセのハイテク地域に、愛と心の奉仕団体であるLCによって魂が入れられる事になった。本年度は丁度千葉市が、政令指定都市に大きく飛躍する年でもあり、この新クラブ誕生は更に、新クラブ結成のきっかけとなり、力強い前進を感じました。

最後に、結成にあたりご尽力頂きました吉田ガバナーはじめ、キャビネットの皆様、そして市内クラブの三役の皆様に、心からお礼を申し上げたいと思います。333-C地区の限りなき発展を祈りつつ。

## メータ国際第一副会長公式訪問に参加して

2R RC L. 鈴木 行正

ライオンズクラブ国際協会ロイット・C・メータ第一副会長ご夫妻の日本公式訪問にあたり、関係各ライオンともども、心より歓迎申し上げます。

332・333複合地区ガバナー協議会主催で去る3月4日(水) 福島県郡山市・ホテル・ハマツに於て盛大に開催されました。メータ副会長は日本ライオンズ8複合地区のうち、332・333・335・337複合地区への訪問

で来日されたとのことです。当地区への訪問は印象に残られたのではないかと存じます。と申しますのは800余名による参加者、会場の良さ、運営に於いても申し分なかったことでございます。私も所期の目的を充分に達し友好が深まったものと思います。

副会長はライオンズのテーマ「ウイ・サーブ」を十分に踏まえ、国際プログラム「活動参加」、国際主要奉仕活動プログラム「視力ファースト」の推進のためご尽力されており、今日までの日本ライオンズの世界に果した役割と責任を高く評価ください。これまで以上に会員増強・LCIF等の推進を願われて居ります。日本ライオンズの一員として更に充実発展を目指し努力精進することをあらたに感じさせられました。この会に参加した15名ともどもメータ副会長の今後のご成功とご健勝をご祈念申し上げご報告といたします。当日は、とっておきの背広で出向きましたことを書き添えます。



第一副会長 L. ロイット・C・メータ

インドのブジャラト州アーメダバードのロイット・C・メータは、91年6月18日～21日にオーストラリア・フィーンズランドのブリスベンで開かれたライオンズ国際協会第74回年次大会で、第一副会長に選出された。メータ副会長は繊維会社及び管具製造会社の会長及び取締役であり、その他インドにおける数々の会社の会長及び取締役でもある。56年以來アーメダバード・ライオンズクラブの会員である副会長は、州で最初のライオンズクラブの創設者である。クラブ会長、ZC、地区ガバナーを務めたほか、長年ライオンズ誌インド版の編集長をしていた。エクステンション賞5回、マスター・キー賞、国際会長賞15回、協会の最高栄誉である親善大使賞などを受賞した。メルビン・ジョーンズ・フェローでもある。種々の慈善組織や専門業者協会で活躍しており、インド商業産業会議所連盟の会長も務めた。現在、インド綿織工場連盟の議長を務めている。アシヤ夫人には、二人の息子がいる。（ライオンズ誌より抜粋）

## 第3回キャビネット会議報告

地区幹事 L. 渡 辺 憲

1. さる3月1日(日)、千葉県労働者福祉センターにおいて第3回キャビネット会議が開催され、各議題について活発な討議が行われた。結論としてはすべての案件が原案の通り承認可決されたのであるが、内容について慎重に検討されたことをご報告しておくものである。
2. 今回のキャビネット会議では来たるべき地区年次大会における提出議案の審議が一つの中心であったが、提出議案および分科会の研究テーマも定まり、年次大会の骨格が出来上がった。年次大会の準備も委員会を中心着々と進められており、有難いことである。只、年次大会への参加者数は現在のところ例年より減少している傾向が見られる。原因は何処にあるのか今後の研究課題である。
3. 議案審議の中で論議を呼んだのは、地区アクティビティ規則案の内容策定についてであった。目標達成を10年後に置いた巨大プロジェクトであり、この運営

を如何に取り計らうかは今後の千葉県ライオンズの大きな関心事となることであり、慎重審議は当然のことである。キャビネットとして一応の成案を見たことは感謝に絶えない。年次大会において地区会員の同意をいただき、次年度から具体的に資金集めの作業が開始される。本年度既に多くの会員の関心を集め、資金を寄せられたクラブも多数存在する。今後の成長を見守りたい。

4. 次期ガバナー候補者L. 矢田常吉および次期ルテナント・ガバナー候補者L. 松丸善次郎のご挨拶もあったが、それぞれに心構えを固められ、準備怠りないご様子であった。地区の継続発展が保証された感を深くした。慶賀の至りである。

次年度は、千葉県が複合地区の運営の中心となる年度である。それだけ矢田ガバナーの事務量と御苦勞が増えることでもあり、千葉県のライオンズメンバーはこの事を心して結束して行かなければなるまいと思う。

地区運営はホームストレッチにかかる所であるが、最後まで御協力を頂きたいとお願いしてキャビネット報告と致します。



## 哀悼 故 L. 藤田定男 名誉顧問



ライオンズクラブ国際協会 333-C 地区名誉顧問故 L. 藤田定男元ガバナーは平成 4 年 1 月 27 日午前 4 時 5 分ご逝去なされました。

1 月 28 日のお通夜 1 月 29 日のご葬儀告別式に際しましては、ご多忙中にもかかわらず遠路態々ご会葬くだされ且つ、ご鄭重なるご弔慰を賜わり、葬儀委員長として又藤田家に代りまして厚く御礼申し上げます。

尚、故人が生前に賜わりました格別のご懇情に対しましても茲に併せて厚く御礼申し上げます。

私共 333-C 地区クラブ員一同故 L. 藤田定男のご冥福を心からお祈り申し上げます。

### 弔 辞

人生朝露の如しとか、さりながら、これ又露にも増してはかなく世を去られし、藤田定男先生の訃をいたみ、そのご靈前につつしんで哀悼の辞を捧げます。

先生は大正 13 年千葉市に生まれ、千葉市に育ち、千葉大学医学部を卒業され、爾来今日まで産婦人科医師として医業に従事して来られました。云うなれば純粋な千葉ッ子であります。

先生は「義理人情を大変重んずる親分肌の性格の上に、高度な知性と豊かな教養とを併せ持った常識人」と云えるであります。

常に時事問題には自己の信念にもとづく明解な意見を

### 地区ガバナー L. 吉田政勝

持ち、決して付和雷同する事のない熱血漢であります。しかしいたずらに自説に固執するような態度は全くなく、和を尊び一度信頼すればすべてを委ね、説を述べることより聞くことを好み、自説に過ちありと知れば欣然として直ちに之を改める度量の大きい方であります。

又酒を好み、女性を愛することも人後に落ちるものではなく、興至れば浪曲を吟ずる義理人情に厚い熱血漢でもありました。

医師会活動にも熱心に取り組まれ、理事監事と長い間役員をつとめられ、会長の声もかかるておられた矢先の発病でした。

先生は 1982~83 年度のライオンズクラブ国際協会 333-C 地区の地区ガバナーとして、その卓越した手腕と指導力を遺憾なく發揮され、数々の国際協会々長賞に輝いたのであります。

5 ~ 6 年程前脳梗塞に倒れられてからも私に「君がガバナーになる迄は死ぬにも死にきれない」とよくおっしゃって下さいました。「それなら私はガバナーにならなくても良いですからいつ迄もお元気でいらして下さい」そんな会話を屡々繰り返したものでした。

そして先生のご尽力もあって私はガバナーになる事が出来ました。そのガバナー就任を見届け順調なすべり出しを見てご安心なさったのか、永い旅路に旅立たれてしまったのであります。

昨年の暮れお見舞いの方々病院を訪れた際は大変喜んで下され、ほほ笑みをたたえながら、おいとまする時は自ら進んで手を出して握手を求め、私の手をしっかりと握り乍ら「しっかりやれよ」とおっしゃって下さいました。その時はとてもお元気で安心をしておりましたがあの時の握手が最後になってしまいました。

## 千葉県高等学校弁論大会を終えて

弁論大会実行委員長 L. 石井三郎

333-C地区誕生と共にスタートした地区主催の千葉県高等学校弁論大会は本年第11回を迎え、1月25日、千葉市、県文化会館にて開催された。

ライオンズクラブの主催とは云え、その多くは高校弁論連盟の諸先生方にお骨折りを頂戴しての開催である。

例年一生懸命弁論をする生徒に対し、聞く側の聴衆の少なさが問題になるが、本年度は3Rの森野RCを中心にルテナントガバナーL. 矢田他3Rの多くのライオンを中心に地区内各地のライオンに参加して戴き、例年より多くの参加のもとに終了出来た。

特に京葉LSCの皆様には、終日接待役としてお世話を成りました。本年の特徴のもう一つは午前中第1部として中学生の招待弁論を行ったことである。とかく中学生といえば高校受験を中心とした勉強オンリーになりがちだが、参加した6名の中学生は立派に自分の考えを訴え、高校生に負けない弁論ぶりであった。

第2部高校生の部には15名が参加し、全国レベルで

も上位にある千葉県の実力を充分發揮しての堂々たる弁論であった。特にアメリカに留学して英語での弁論を望んだ弁士、農業に専念し家業の酪農を継ぎたいと云うたのもしい弁士、とそれぞれ立派な内容であった。

地区内、全メンバーに再び申し上げたい。是非次年度の大会には更に多くのメンバーに参加して欲しいと思う。

本年度の大会に御支援、御協力下さった多くの皆様に感謝申し上げます。



### 地区YE関係者

## マレーシヤ308B地区訪問

地区YE特別委員 L. 青木 孝 (松戸東LC)

308B地区ガバナー Dato Dr V. Jeganathanさんは、歓迎昼食会において「ライオンズクラブのYE活動は、最も効果が期待される重要なアクティビティの一つである。将来その国のリーダーとなる青少年が、諸外国の事情や文化を体験することは、諸外国から訪れた人々と交際するうえに広い視野を与えることであろう。諸外国と人間対人間レベルにおいて、密接な関係を増進することがYEプログラムの狙いである。マレーシヤの青少年は毎年約100人が、YEプログラムによって、親善大使と

して外国に派遣され、その国の生活様式や文化を体験することになろう。本日、日本から来られた333複合地区YE関係者をお迎えし、今後日本ライオンズクラブとのYE生交換が更に活発になるよう、お互いに協力することを願ってやまない」と挨拶された。

これに対し、333-B地区YE委員長L. 川田 稔が、333複合地区ガバナー協議会議長L. 檜山 道のメッセージが伝えられた。その要旨は「アジア諸国民との交流は益々緊密化を要求されていて、他国の物の考え方、価値

観を知ることが大切になった。マレーシヤと日本は稻作文化という共通する基盤を持っている。今回YE関係者の訪問により、相互理解の上に立ってYE活動を活発化するとともに、両複合地区のかけ橋ができるよう希望している」であった。

### マレーシヤ訪問のはじまり

アメリカ各洲、カナダ、オセアニア諸国とのYE生交換が、ここ二三年少なくなっている傾向にあり、我々地区YE関係者はかねがね今後東南アジア諸国、東欧諸国とのYE生交換を拡大していくことの大切さを考えていた。東南アジア諸国の中でも、マレーシヤは国情が安定しており、派遣YE生の帰国報告会や受入れ家庭報告会において、マレーシヤ学生の性格の良さ、礼儀正しさ、態度の真面目さを知り、マレーシヤの家庭の好印象やクラブの温かな支援について承知していた。YE委員としては、安心して学生を派遣するためにマレーシヤの国情やクラブの事情を視察し、ルートも確保しておきたいと考えていた。昨年11月マレーシヤ308B地区YE委員長麦 紹坊（Mak Siew Fong）氏夫妻の来日を機会に、望月武峰地区YE委員長等と懇談した際、333複合地区YE関係者のマレーシヤ訪問計画について話したところ、大歓迎である旨の返答をえた。

そこで333複合地区YE関係者のマレーシヤ訪問の準備にとりかかり、去る2月9日、成田を出発し、マレーシヤの首都クアラルンプール、第二の都市マラッカ及びその近郊を視察し、308B地区役員及びペタリン ジャヤ ライオンズクラブ メンバーとの交歓を実施して、14日に帰国した。

この訪問に参加したメンバーは次の14名であった。

333-A地区より、元地区YE委員長L. 岡田繁雄、同夫人L.S. 岡田玲子

333-B地区より、地区YE委員長L. 川田稔、地区副幹事L. 潮田往雄、同L. 高久博夫

333-C地区より、地区YE委員長L. 望月武峰、地

区YE特別委員L. 青木 孝、地区会則・会員増強・EXT委員長、元地区YE委員L. 関 重雄、地区環境保全・ACT委員長、元地区YE委員長L. 木下 務、6R PR情報委員、元地区YE委員L. 川合敏男、地区長期計画・リサーチ・指導力育成副委員長L. 小西宗仁、地区高校弁論大会実行委員長、元地区YE委員L. 石井三郎、柏ライオンズクラブ国際協調委員L. 市村 衛及びYE派遣生であり先般マレーシヤ学生の受入家庭でもある高梨明美さん

### 308B地区歓迎昼食会

クアラルンプール等の視察が終った13日に308B地区YE委員長主催の歓迎昼食会が、ロイヤル セランガーライオンズクラブにおいて開催された。国際理事L. LEE、地区ガバナーL. JEGANATHAN、前地区ガバナーL. Hong、元地区ガバナーL. Chin、地区ルーテナントガバナーL. Tan、地区YE委員長L. Makをはじめ地区役員、YE関係者多数及び来日YE生5名が出席した。来日YE生の中には、昨年12月、木更津金鈴、富津両クラブで受入れたMay Foong CHOOさん、八日市場、鎌ヶ谷両クラブで受入れたLoo Chan BONE君も元気に如才なく参加していた。高梨明美さんの家庭でMayさんを受入れた関係上、今回はMayさんの家庭にホームステイをしていたので特に親しくしていた。

さて、昼食会はいつ始まったのか、どうなっているのか当方にはわからないうちに進められ、司会者の相方の紹介と挨拶が昼食をとりながら和気藹々のうち続けられた。当方からも、望月委員長、岡田委員長が代表して挨拶をする。Mak委員長は、本日の昼食会の目的と経緯を述べ、日本とマレーシヤとの間にYE生交換を更に強化したい希望を話された。挨拶のあと、ガバナーと我々のバナー及びバッチの交換を行い、あとは無礼講で賑やかに懇談した。

会場のロイヤル セランガーライオンズクラブは豪壮な建物であって、外国の要人を接待する迎賓館であり、バイキン

格様式ではあるが、出ている料理は中国風とも西洋風とも又マレーシャ風ともわからない上等な料理であった。見学で腹をすかした我々は何よりも食べるのが先決で、そのあと懇談に加わったようなものである。

## 工場見学

その日は Mak Y E 委員長が準備しておいてくれたバティク（更紗）工場、ピュータ（錫）加工工場、ゴム園とゴム製造工場及び椰子油製造工場の見学をした。

マレーシヤの産業の主体をなすものは、ゴムと椰子油と木材であるが、ゴムと木材は衰退して来ているので、今や椰子油の海外市場拡大に努力している。椰子油（パーム油）は食料品、化粧品、蠟燭など各方面に使用されているが、今ではガソリンの代りに自動車を動かすにも使用できることである。この工場では素晴らしい出来のパーム油製造と商品についてのスライドを見せてもらった。バティク、ピューターについては、日本と同様製品展示場が観光客相手の店になっていて、買物を獎めていた。工場そのものはまだ近代化には程遠いように思われた。

ゴム園では、苗の接ぎ木、ゴム液採取の方法の実演を見学し、ゴム工場においてゴム液から生ゴムの製造までを理解した。合成ゴムに王座を追われたためか、どことなく陰うつであった。

バティクはいわゆる更紗模様であって、民族衣裳として価値があり、今ではシャツや上衣として活用されているものの、バティクのサロンを腰に巻いた男子や婦人の姿は街では見られなくなった。日本の高級着物と同様なのかも知れない。賓客を迎えた高官が時にバティクサロン姿をするに限られているようだ。

## ペタリン ジャヤLC例会訪問

工場見学のあと Petaling Jaya LC の例会に招待された。このクラブはマレーシヤで 2 番目に出来た古いクラブである。例会場はライオンズ ハウスで、クラブメン

バーの豪華な家を利用している。

会長 Woon Foug Piew をはじめとし、クラブメンバー、ネス及びレオのメンバー多数が賑やかに参加し、スコールの過ぎ去ったあの夕闇が迫る庭園で、いくつかの円卓を囲み、バイキングの夕食をとりながら、相互に入り交って歓談した。ここでもいつ始まったか、何がなんだかわからないうちに、紹介があり挨拶があり、飲むこと話に夢中のひとときであった。

我々の訪問と前後して、松戸ユーカリ LC から消防車 2 台がこのクラブに寄贈され、その機会に姉妹提携することになっていた。そのため Woon 会長より松戸ユーカリ LC について尋ねられ、連絡を要請された。

メンバーは、マレーシヤの経済を担っている中国系の方が多いようであるが、インド系もマレー系も加わって、それぞれ明るく陽気で、例会ものんびりしたものんだと感じた。このクラブは特に青少年健全育成に力を入れている様子がわかった。レオクラブ活動が活発であり、そのメンバー数の多いのは世界最大であるとのことであり、YE 生派遣はレオクラブメンバーから選ばれている。

## 街のあれこれ

マレーシヤは、マレー人、中国人、インド人等さまざまな民族によって育まれた文化が息づき、それぞれ独自の文化、経済、習慣を守りながら共存している姿が見られた。街にはそれぞれの民族、宗教を象徴する建物が鮮やかなコントラストをなし、郊外は椰子林とゴム林が交互に緑と白を加え、恵まれた自然である。

近代化の進むクアラルンプールは、高層ビルが林立する中に 50 階の超高層が聳え、車は道から溢れ、その渋滞するさまは東京と変わらないようである。玉ねぎ型のドームのあるイスラム教寺院、極彩色の中国寺院、植民地時代の面影を残すコロニアル風邸宅、ムーア式建物に庭を広くとった王宮、極形式の等身大の人形がたくさん飾られているヒンズー教の聖地等多彩な文化に目をみはってしまった。

マレーシヤは、日本とほぼ同じ位の国土をもち、人口は僅か1800万であり、イスラムでは多妻が許され、子供は10人以上というのも珍しくないというのに、全般に人口が増加しない。これはゴムの産地であり、ゴム製品の巣りであると冗談を飛ばすメンバーもいた。

料理やファッション、伝統的な手芸品もエキゾチックな趣を漂わせている。中国料理、マレーシヤ料理、インド料理と街には高級レストランから露店まで、それぞれ香辛料と動物の臭いとが入り交って食欲をそそっている。果物もさすが熱帯で多種多様であるが、日本ほどデリケートな美味さのあるものは少い。ドリアン、マンゴスチンは合憎時期が外れて食味することができなかった。

伊勢丹では高級品が巾をきかし、間もなく「そごう」が大きな店舗を構える準備をしている。高級デパートからチャイナタウンの店には商品が山をなし、客の購買力を物語って経済は豊かなようである。チャイナタウンでは、有名ブランドのコピーが安いので、ついつい買わされてしまう。

### おわりに

2月14日の「Star Sport」誌及び18日の「New Straits Times」誌に、われわれのマレーシヤ訪問記事が掲載されていた。その中にL. 川田 稔の談話とL. Makの要望とYE生のインタビューが載っている。L. Makは、「YE生を海外に派遣するには、同時に外国学生をホストしてくれる家庭が必要である」と。そして来日YE生は「お金では買えない貴重な体験をすることができた」「百聞は一見にしかずと云うが、私はこの経験を生涯の宝物として大事にしたい。日本に派遣されたことは大へん幸せでした」等と語っていた。

われわれYE関係者は、マレーシヤを訪問し、表面だけであったかも知れないが、その国情とライオンズクラブの熱意に触れ、人間と語り、今後YE生を派遣しても、又受入れても問題が起きることは少いのではないかとの感触を持って、それぞれ旅装を解いた。

終りに、この旅行の手筈を整え、優秀なガイド江さんの案内のとも、極めて有意義な旅行ができたことについて、柏ライオンズクラブ L. 志村 衛（ホーリーツアーズ社長）に心から感謝する。



# 相互理解の精神

地区LCIF・国際協調委員長 L. 山内克巳



「友愛と相互理解の精神を養い・・・」と改定することが決定しました。

2国語を話す人を、Bi Lingual. (バイ・リンガル)

3国語を話す人を、Try Lingual. (トライ・リンガル) と言いますが、では1国語しか話せない人を何と言うのか？知ってる人はいますか？

誰も居ないはずです。人は口が不自由の人以外は、誰でも自分の国の言葉は話せます。だからそんな言葉がある訳が有りません。

しかし、あるアメリカ人が、「それは、American」と答えました。アメリカと言えば他国籍の人達が寄り集まって出来た国です。いろいろの国の言葉を話す人達がおるはずなのに、何故と疑問を持ちますが、他国から移住して来た人達が、一番さきに不自由をするのが言葉です。ドイツ語しか話せない人は、ドイツ語が通じる人だけにしか意志が通じません。だからどうしても共通する言葉が必要なのです。そして出来上がってきたのが英語を基にした American English です。

200年の年月がたち、4世～5世ともなると、共通語さえ話せば国内は勿論、世界各国何処に行っても、何とか意志が通じますので、自分のルーツの国言葉は忘れてしまうし、勉強する気も起こさないのが現状のようです。その弊害がいろいろな面にて起こりつつあります。あれ

333複合地区は  
ライオンズの誓い  
の「友愛と寛容の  
精神を養い・・・」  
を、時代の変革に  
順応すべく、用語  
の改定を進めてき  
たが、C地区でも

だけ世界各国に貢献しても、その国の言葉を知らない為に、その国の文化・習慣そして民衆の根底に流れる思想を無視し、アメリカン・ファースト流で、ただ援助だけで物事を解決しようとする。それが却って反感をかってしまふ面が多いのを、このアメリカ人は嘆いて「アメリカン」と言ったのでしょう。

日本の場合も全く同じで、開発途上国の政府から「ダム」の建設の要請が有れば、そのダム建設によって自然破壊ばかりだけのみならず、少数の利権者の利益の為に、多くの民衆の生活まで追い詰めてしまう事などを、あまり調査などもせずに援助している事も多いのでは有りませんか。

「相互理解」これは簡単に口では言える理念です。「寛容の精神」この東洋的の思想では己の嫌な事、理解出来ない事はとことん“NO”と口から泡を飛ばして議論する西洋の人達にとっては、自分自身の意に反してまで、自分を犠牲にする倫理は理解出来ません。

「相互理解」字の如く、お互いに理解する。「寛容」なら己さえ寛大な心をもって相手の事を理解すれば、たいがいの事はおさまるが、これは決して解決ではなく、妥協です。お互いを理解する事とは、お互いの理念をとことん話し合う事が必要条件なのです。

議論するには、共通する言葉は勿論、相手の国の言葉の持つ哲学・意味を理解しなければ本当に相手の事を理解する事は出来ません。

“相手の国の言葉を解せずして、相手を批判したり、非難してはならない”

日米問題にしてもしかり。「ワビ」「サビ」「葉隠れ精神」これらの言葉は、日本人がながねんにわたって培ってきた、日本人の根底に流れる精神哲学なのです。

200年しか歴史の無いアメリカ人と、ながい歴史を持

つ日本人。そこにはお互いの理解出来ない問題が累積しております。

“米”の問題ひとつにしても“米と日本人との因縁”そこにまつわるいろいろの“しがらみ”など、どんなに説明しても、現在の出来事が法律、歴史そして習慣として作りつつある人達にとっては、「何でそんなものにこだわるのか」「そんなものは現在流に変えれば問題ないのではないか」ぐらいにしか考えません。総ての人達がそうだとは言いません。なかには本当に日本人を理解してくれる人達も、沢山おります。だからその人達を通じて、根気よく説得していくより方法は有りません。感情に走ってしまったら、お互いに悲劇です。

### 理解と感情

例えば、韓国と日本。玄界灘ひとつへだてた隣国です。しかし食事をする方法ひとつとっても、違いが有ります。日本人は正座をし、お茶碗を手で持ち、箸を使って御飯を食べますが、韓国では女性が片足をたて、茶碗をお膳の上に置き、スプンを使って食事をします。お互いに其を見た時、両方とも「なんてお行儀が悪い、みてられない」と感情的になり、どうしてそのような方法で食事をするのか？とゆう疑問を持つ前に、嫌悪の感情が先にたって仕舞う。そうなると相手の事を理解しようとする気持ちなどは何処かに行ってしまい、只感情だけで物事を“悪い”と判断してしまう嫌いがあります。

両方とも、長年かかるって、この方法が最も理にかなった方法であるからこそ、マナーとして今まで引き継いできて居るのに。

仮に、何でも手で掴んで食べてしまうアフリカーナの人達の前で、貴方が箸と茶碗で物を食べて見せたら、彼らはなんて言うでしょうか？おそらく「何であんな棒切れ2本つかわなければ、物が食えないのか。哀れな奴だ」と考えるかも知れません。

人間は感情の動物と言います。すべて理性だけで処理し

て仕舞ったら、恐らくつまらない社会になってしまいますが両方を何処で、何を持って妥協するのか。非常に難しい問題です。感情が少しでも先に走ると、すべての事が感情的にしか処理出来なくなり、真実を見極める心が無くなってしまうのではないかでしょう。

昨年の夏、45年に渡り共産主義社会に支配され、生まれた時からその教育を受けた5人の若者が、ハンガリーから初めて民主主義の日本にやって来ました。

ライオンズ・クラブの皆様方の協力を頂き、各家庭にホームステイ致しました。私の家にも可愛い娘のハニーを預かり、いろいろな事を勉強致しました。

私も一昨年、社会主義から脱皮し、新しく誕生したボーランドのワルシャワライオンズとハンガリのブダペストライオンズ・クラブの皆様と、交流をはかる為に東欧を訪問し、脱皮中の国々を視察いたして参りました。今までかい間見る事の出来なかった社会主義の片面と、これだから崩壊したので有ろう悪い面。さまざまの事を学んだつもりで居ましたが、これも私の通りすがりに、立ち寄り話しを聞きかじり、かい間みたほんの一部の知識で、異なった国の事をなにかれと批判してはいけないと、ハニーに教えられました。

夜になると、家内、せがれを交えての会話。私たちは少しでも民主主義国家の素晴らしい点を理解させようと、必死に説明するのだが、彼女の頭の中には社会主義国家の教育から受けた民主主義がいかに人間社会を破壊するかと言う思想と、現実に見る我々の生活の懷疑心の矛盾性に、頭の中が非常に混乱してしまうようだ。特に歴史の中でも第二次世界大戦の話になると、私達と全く逆の解説を必死に説明する。その頑固さは相当のものでさすがに家内も根負けしてしまう。でも私たちの方が正当なのか？彼女の方が正当なのか今でも私には判らない。何事にも宗教・思想が違う教育を受けた両者が、議論する場合にお互いが納得し、理解することは大変だ・・・とつくづく感じました。

百聞は一見にしかず。とか申しますが、一見しただけで総てを語っては成らない。

盲人と象の話では有りませんが、ほんの一部だけ見たり、聞いただけで、そうだと思い勝ちですが、とんでもない思い違いをする事が沢山有ります。

皆さんの中でも“何となく気にいらない奴だ”と思っていた人が、話し合ってみたら素晴らしい人だったりした事があると思います。

私の店にも世界中から沢山の人達がまいります。そして得た教訓は、外観にて判断してはいけない。一見して何となく寄りつき難い気難しい人ほど、話し合ってみると、心を割って話会える友達だったりした事が沢山あります。

インド航空のジャスミンもその一人です。始めは注文でも何でもうるさく、こんな客は来て呉れなくてもよいのにと思って居りますのに、フライトして来ると必ず店に来ます。ある日、一人で来た時何気なく話し合ってみると、これが素晴らしい娘さんで、来る度にインドのお菓子等を持って来るので、どうも香料が強すぎてなじめません。何度目かの時、私が口にしなかったら目に涙をためて悲しそうに私を見つめております。あ、いけないと思い、一つ摘んで口にした時の嬉しそうな顔。私は一生がい忘れられません。

くろい顔した私がインド人だから、また心を込めて、私に喜んでもらえると思って持参したのに、一口も口にして呉れない私に。

ある日、一通の手紙と共に結婚式の招待状が届きました。“日本のお父さんは非私の花嫁姿を見て下さい”でも都合が付かず晴れ姿を見る事は出来ませんでした。今では、二人の母親となって居りますが、子供たちに私たちの事を「ジャパーンのグランドファザー・ママ」と教えて居るそうです。そのうちにインドの孫達が、私の家に遊びに来て家中が大騒ぎに成るだろう。ジャスミンの子供達だから。

人間はまず話し合う事によって、人生の歴史が始まる

のではないでしょうか。

あまり他の国の人達と話し合いの出来ない人達は、まずYEのホームステイに参加して、他国の人達と交流を計る事が、相互理解の基に成ることと思います。口先だけの“相互理解の精神を・・・”等では無く実行しなければ意味が有りません。



## 第4 R新入会員研修会開催

新春1月19日（日曜日）八日市場市市民ふれあいセンターでは第1 Z、第2 Z合同の研修会を実施しました。参加者は総勢67名、時間をオーバーする盛況でした。当日は前地区ガバナーL. 長島彪。元地区ガバナーL. 橋口一夫始め地区委員長、地区役員、委員のご参加を頂きました。今回は特別講師を設けず各役員がそれぞれの立場で下記のような分担内容で実施しました。

① ライオンズの歴史について

第4 R RC L. 大木三郎

② 地区複合地区及国際本部組織について

第4 R ZC L. 米本新治

③ 単一クラブ組織と役割について

第4 R ZC L. 米本新治

④ ライオンズ用語とPR活動（地区ニュースライオ  
ン誌等と）LCIFの活動について

第4 R RC L. 大木三郎

⑤ 会則会員増強EXTについて

地区会則 会員増強 EXT

委員長

L. 関 重雄

⑥ 薬物乱用防止・糖尿病について

地区薬物乱用防止

糖尿病教育副委員長

L. 斎藤一夫

⑦ YEの活動について

地区YE委員L. 門脇瑛太郎

⑧ レオ及LSクラブについて

地区LS委員L. 清宮 浩

又講義の合間、視聴覚室にて視力ファーストのビデオ放

映。元地区ガバナーL. 秋場寛よりのメッセージを伝達しLCIFについて理解と協力をお願い致しました。第2部の懇親会では研修会に対する感想、今後の活動の抱負等発表して頂き和気合々のうちに相互の友情と親睦を深める意義深い出逢いが生れた事と信じます。

第4 R PR情報委員  
L. 勝股 清



### 銚子LC

#### クラブ運営について

私達のクラブは、県内6番目に結成され28年の伝統あるクラブです。クラブが2つになる以前は、106名のメンバーを有しており、現在会員は57名。クラブ運営は先輩L.が残した良き継続事業の維持、よき習慣の持続を守り続けております。私達のクラブはここ10数年、食費の値上げは一時あったものの、伝統的に臨時諸経費の拠出は殆どございません。総て会費より支払われます。この点は当クラブの立派な伝統的運営だと思います。



We Serve

実際、そのクラブのメンバーから聞いた話であるが、(333 C 地区外) 周年行事を行なう為に、会員 1 人当たり 1 6 万円の拠出を求められ、6 名が退会した話を聞きましたが、我々のクラブは会費の中より記念式典の積立を致しております。しかし、最近は国際会費を始め、複合・地区・R・Z 会費の値上、臨時諸経費の支出・年次大会・周年行事・各種会合会費の増加によりクラブ運営費の負担が大きくなり、私達のクラブはもとより、小さなクラブでは、その都度メンバーから徴収すると聞きます。

メンバーの臨時供出負担増は、メンバー退会にも繋がりかねません。又運営費の圧迫は事業費をも圧迫し、ライオンズクラブ本来の目的である A C T にも影響を及ぼします。

私達のクラブの、元 R C L 神宮寺が会報に記載された通り、日本経済も高度成長の時代が過ぎ、バブルの崩壊と並行して不況期に突入した気がするので、クラブ運営も限られた財源を有効に支出して行く努力と反省の時期である。(一部省略) 新しいライオンズの開幕のためにも、全員で研究実行しよう。と云っておられます。これはキャビネット始め全ライオンズクラブが真剣に考える問題であると思います。

## 佐原 LC

### 市民チャリティー「バザー&オークション」

会員自ら各自の貴重なポケットマネーと時間を割いて奉仕活動をするのが、本来の趣旨です。お金さえ出せば後は、他人に奉仕活動をしてもらうものではない。自分たちも汗をかいてこそ、ライオンズクラブだと昨年度の池田会長が創案されて開催された。汗する A C T の標語で始まる 市民チャリティー「バザー&オークション」の第2回を、本年度も平成 3 年 12 月 7 日に実行致しました。

業資金は外部より獲得するとの姿勢は継承すべきで有ると、昨年同様メンバーはもちろんライオンレディーとライオネスクラブの全面的なご協力を戴きました。更に共鳴された多数の市民方々と関連機関の御支援も得る事が出来ましたので、お陰様で、昨年度を上回る成績にて無事終了する事が出来ました。これは他のクラブでも、同様に開催される事が有ると思われますので、そこで少々内容を詳しく報告させて戴きます。

会員全員が、実行委員になっての 2 ヶ月以上に渡る準備期間とその内容を列記して見ますと総務、涉外としての地域市関連機関に後援依頼。行政協力委員にバザー予告と物品提供依頼のチラシの配布回覧願い。消費者協議会婦人会、商工会議所、商店会。主だった団体事業所等などに協力要請等などに案外時間と手間暇の掛かり、頭の下げどうしの仕事でした。これは良い経験になりました。もっとも大変なのが P R 実行です。ライオニズムの原点に立っての P R 活動は、担当メンバーの苦労は大変なものが有りました。

さて P R が行き届きますと、会員始め市民からのドネーション商品のコレクション。その保管分類と商品値付け搬入など。模擬店担当者の当日での売店設置とその販売品の数日前より仕込と準備です。当日設置した屋台は「もつ焼き、カレー、焼きそば、甘酒、おでん、ラーメン、おしるこ、コーヒー、焼きいも」なのでしたがクラブ員の中には、本職顔負けの腕前の人方が結構いた事には驚きと発見でした。



## 東庄LC

会場には、昨年同様に市体育館を借りての開催。この広さは並みたいていの広さではなく、果して商品がバラバラで見栄えがしないのではと、大量の安くて良い野菜果物花植木などを早朝より搬入陳列。会場担当者はスリッパ、ビニール袋の準備サインペンに至る事務用品、ライオン、レデー、ネス、及び関連者に腕章など結構去年の記録が役立ちました。釣銭だけでも100万円の換金体制をと前日迄は万全の用意を取ったつもりでした。後は天気だけ。

当日は暖かな好天。誰かの諺によれば「天気さえ良ければ80%の成功」これに励まされてクラブ全員本業を早朝から休んでの奉仕活動です（内には前夜から？）正午きっかりに配置についたメンバーの拍手のなかでドアを開けると待ちかねた市民が文字道理雪崩の様に、我先に入場して一時は事故が起きるかと心配する騒ぎで、用意した2000足の履物入れもあっと言う間に無くなってしまい、担当者が慌てて補充に買い足す始末でした。閉会時間を持たずして売れきれ続出で、本当に嬉しい悲鳴の一日でした。「予め売れきり終了早い者勝ちの宣伝が行き過ぎたのかと後で“反省”でした」

後かたづけも全員で、遅くまでの清掃と本当に頭が下がりました。

「WE SAVE=私達は奉仕する」を実行するには、大変な事ですし、それには、会員同志いや多くの人達との相互理解、友情と親善が満たされた有意義な活動を心より感謝する日でした。お陰様で売上目標を越えた287万円を得る事が出来たので、当初の収益金寄贈先を増やしてのアクトとなり、本当に喜ばれながらの奉仕活動とLCのPRが出来たと改めて御礼申し上げます。

佐原LC会長 平山真佐雄

バザー実行委員長 杉山 祐胤

### 世界ライオンズ奉仕デー

— 河川の清掃作業、他団体の  
協力を得て実施 —

東庄ライオンズクラブは、世界ライオンズ奉仕デーに因んで環境美化奉仕活動の一環として、台風の襲来等により11月24日行ったものですが昨年度に引き続き黒部川、桁沼川の清掃作業、特に不法に投棄されました空き缶、或いはビニール、廃材等の除去作業でしたが、今回は建設省関東建設局の出先機関利根川下流工事事務所小見川出張所及び町福祉環境課のご協力をいただき、更に笛川漁業協同組合よりの漁船7隻の提供、そして組合員の献身的な支援のもとに河川の両岸にわたり投棄物の収集作業を行ったものです。当日は、時期的にも11月末とありまして川面には通称“筑波おろし”とも言われる寒風が吹き込むなかでの奉仕活動でありまして大変に厳しい一日でしたが、参加者37名は寒さに耐えながらグループ編成となりまして漁船にそれぞれ分乗し、河川の堤防をくまなく歩きながらの奉仕作業がありました。

今回の現況では、主として放置されている投棄物の例をあげれば、空き缶、空き壠、ビニール類、廃材、それに使用不能の鉄製品等であります。こうした結果を



見まして量的には昨年と比べまして少し減ったかと思われましたが、余りにも改善されない現状を見るとき公衆道德、因みに守られていない河川浄化に対する認識不足が遅々として改善されない実態に奉仕員一同は至極残念に思いました。今後は、ぜひ地域住民の公衆道德をはじめとして行政の指導力が必要かと考えます。また同時に郷土を愛する対策を強力に打ち出さなければ環境問題は、日に日に悪化し豊かな生活環境が維持できないかという重大な危惧の念を抱きながら奉仕作業は無事に終了いたしましたが、わがクラブとしてはこれからも、更なる環境保全の必要性を提唱し、このACTを継続し地域社会に奉仕していく所存であります。

## 神崎LC

### 主要ACT

- 1 第21回「喜寿祝」の贈呈  
9/15「敬老の日」に喜寿該当者47人に座敷団並に記念写真を贈呈し、長寿を祝った。
- 2 ライオンズ・デーの奉仕活動  
10/20（日）に老人クラブ、婦人会の協力を得て（総員約70人）、町内美化作業（空カン拾い、神社清掃、ミラー清掃）を実施し、地域奉仕精神の高揚を図った。
- 3 チャリティーボーリング大会の開催  
12/14（土）青年会、婦人会など102名の参加を得て挙行、実年・青年・婦人の3組に分けて覇を競い、終始なごやかに終始した。その収益金17万円を町の社会福祉協議会に寄贈した。今回は第11回目で、初回からの累計額は200万円を超えた。
- 4 マラソン大会にメダル贈呈  
12月、1月に行われた小中学校の校内マラソン大会に金・銀・銅のメダル（学年別・男女別）を贈呈し、その健斗を称えた。

## 大栄LC

### 献血推進モデル地区における活動

大栄町は、平成2年度から、千葉県より献血推進モデル地区の指定を受け、積極的にその活動を進め、多大な成果を挙げつつある。大栄ライオンズクラブは、中心的な推進母体となり、昨年度は7回、219,200ccの献血量を記録した。本年度は全会員による奉仕団を組織し、延べ17回の活動を通して昨年以上の実績をあげている。人口12000人弱の町として、その献血量は他にひけを取らないものである。また例年町民まつりにおける「献血キャンペーン」（写真）の実施は、尚一層の協力向上のため、大きな役割を果たしている。



## 栗源LC

地域の環境を守る運動 ゴミの投げ捨て防止に一役

栗源町へごみ箱寄贈



## 銚子中央LC

12月15日（日）銚子市立本城小学校のグランドに於いて、銚子中央LC主催で、東総・波崎地域8チームが参加して第2回東総少年サッカー大会が開催された。各チーム全力を出し切っての熱戦が繰り広げられたが、断然強さを見せつけたのが波崎東小サッカー少年団で、完全優勝を飾った。わがL藤井政幸率いる本城睦少年団は惜しくも準優勝にとどまった。

東総の少年サッカーは企業などから好指導者を迎えて、波崎・小見川などが、先進地としてリードしていたが、最近は銚子市内の本城睦少年団を始め、リゲル、春日、飯沼、船木などが果敢な練習でパワーアップ。実力が拮抗して来た。来年もまた楽しみである。



12月23日（金）午後、クラブ三役は市内の民謡グループの東民会（L郷 栄弥が代表、会員40人）のみなさんと、銚子市猿田町の県救護盲老人施設猿田荘（要救護50人、盲老人50人）を歳末慰問した。

東民会では数年来十八番の民謡で慰問を続けているが、代表のL郷（前会長）がわがメンバーであることから、今年は2回目の慰問となった。

クラブからは青森より取り寄せたリンゴジュースやお菓子を持参した（台風19号被害救済のため）

会場のリハビリ室では50人余りの人達が、この民謡を楽しみに聞き、盛会であった。

## 八日市場LC

### 派遣生 モチつき 初体験

YE生と其の受け入れ家族を囲んでのクラブ主催モチつき大会が昨年12月22日Lメンバーと家族多数の応援を得て開かれた。

L. 鈴木八郎ネスの手ぎわよい「こねどり」につぎつぎに杵をふるう各ライオンに熱い声援が飛ぶ。

マレーシアから派遣されたエルビン君も負けじと気合を入れて、最後の1臼をつきあげ、一汗かいたところで、後はおなじみの『甘カラ』コースに仕上げは〔雑煮〕で一同満腹。派遣生の ごちそうさま で、目でたく解散。



### 樂しきACT グランドゴルフ

昨年の12月8日は、身震いする程の寒さにもかかわらず、八日市場野菜親善グランドゴルフ大会を開催したところ、婦人、老人会の各団体から208名の皆さんのが参加 38本のホールインワンを記録、上位10名平均打数（16ホール）41.4打でした。

## 旭 LC

### 青少年健全育成剣道旭大会

旭ライオンズクラブ主催の第14回青少年健全育成剣道旭大会が2月11日（建国記念の日）旭市立第二中学

校体育館にて、近隣高校 6 校、中学校 12 校の参加で開催されました。

開会式には主催者として宮川昂、旭ライオンズクラブ会長が「日頃、鍛えた技を十分発揮して精一杯頑張って下さい。」と選手を激励、米本ゾーンシェアマンをはじめ、多くの来賓の激励の後、試合が開始されました。

午前、ライオンズ旗争奪の団体戦、午後、個人戦とそれぞれ母校の栄誉と個人優勝を目指し熱戦が繰り広げられました。試合に先立ち旭市剣道連盟の役員により、日本剣道形の模範演技が行われ、伝統のある太刀さばきを披露して戴きました。

団体戦優勝は高校男子・横芝敬愛高校、女子・松尾高校、中学男子・横芝中学校、女子・光中学校でした。参加者 200 名の白熱した試合にクラブメンバーも熱心に応援をし、年々参加数の増えているこの大会を旭市剣道連盟の方々のご協力を得てさらに充実した大会が毎年開催されることを期待しております。



## 総武中央LC

### 第 8 回小学校対抗駅伝大会

平成 4 年 2 月 2 日、会場を蓮沼ウォーターガーデン駐車場と前の道路を使用して、第 8 回小学校対抗駅伝大会を開催しました。

前日の準備の日には朝方雪が降り開催を危ぶみました  
が、午後から準備に会員と先生方が集合したときには、

思いのほか早く雪が解けていて、皆がホットする一幕がありました  
が当日は、よく晴れ上がり穏やかな日のなかで大会を開催することができました。

内容は 4 町村（芝山町、松尾町、蓮沼村、横芝町）の小学校 10 校の参加で、5 年生チームが 13 チーム、6 年生チームが 14 チームの合計 27 チーム、参加選手人数 216 人の大会とすることことができました。

開催回数を重ねてまいりますと、各学校側の理解も深まり 4 町村のすべての小学校が、参加していただき、参加チームも回を重ねるごとに、増えて来ております。又今回は付き添いの先生方、参加選手人数以上の父兄の熱烈なる応援を得て、選手は接戦を繰り広げ大変盛り上がった、大会となりました。



## 飯岡 LC

飯岡 LC 主催の第 9 回町民親善ゲートボール大会が 11 月 21 日（木）に飯岡町営球場で町長さん始め多数の来賓と参加者 200 数 10 名を迎え 35 チームにより競技が始まられました。毎年 9 月か 10 月に実施して参りましたが、今年は会場の都合により、11 月下旬の実施となり暖冬と云われながらも風除のない会場は冷え込みが強く競技者も応援者も大変でしたが、競技が進むにつれて開場も盛り上がり親善大会の成果を大いに高める事が出来たと思います。

開催時期については今少し早目が良かったと反省させ

られました。



平成四年二月二日、飯岡町体育協会主催各種団体の共催により、第三回飯岡町しおさいマラソン大会が開催されました。

大会前日の大雪又当日未明の地震等アクシデントもあり選手の参加が危ぶまれましたが二千有余名登録を受け、当日は、千六百人のランナーが参加しました。

そしてしおさいのコースを、三才の子供が七九才の老人が、十四才の青い目の外国人が共に汗を流してゴールしました。我が飯岡LCの第三副会長であり会員委員長でもあるL鈴木一が町体育協会の会長であるという関係もありまして、わが飯岡LCこぞって、この行事に参画致しました。多大の金銭ACT労力ACTをすることが出来ました。体育協会会長L鈴木一より我がクラブに対して心より感謝された次第でございます。

## 多古LC

### ライオンズ旗争奪近隣中学校駅伝大会

1992年1月26日（日）多古高校～栗源役場間 22.2km で多古ライオンズクラブ主催、ライオンズ旗争奪近隣中学校駅伝大会開催、香取・海匝・山武・印旛郡内市町より参加29校、選手261名。この大会は、中学校1・2年生だけで編成され、一区に女子を起用して盛大に挙行されました。優勝 東庄中タイム1時間12分26秒。大

会新記録。準優勝横芝中 3位 真井西中。東庄中は2年連続優勝。



### 歳末チャリテーバザー並びに献血・献腎登録・PR

1991年11月23・24日に開催された、第1回多古町産業祭に、ライオンズクラブとして地域振興のために協賛チャリテーバザー開催、クラブ員40名全員の協力を得て、物品を提供して頂き、2日間にわたりクラブ員延65名の労力奉仕により、¥153,738円売上。全額歳末助け合いの一助として、多古町社会福祉協議会へ寄付致しました。一般市民から献血登録14名、献腎登録15名の登録を戴きました。地域住民にライオンズクラブのPRと認識をして頂きました。今後とも町のイベントに積極的に協力して、クラブ奉仕活動を市民に認識して貰いたいと思います。

## 干潟LC

### 15周年記念特別例会開催

菊薫る澄みわたる佳き日、1991年11月20日旭市ブライダル武蔵野において、干潟ライオンズクラブ15周年記念特別例会が、333-C地区第4R、RC、L. 大木三郎を始め、干潟町町長、スポンサークラブ旭LCなど来賓各位のご臨席を賜り盛大に記念特別例会が挙行されました。ちなみに、わが干潟ライオンズクラブの誕生の経緯を振り返れば、1976年11月経済圏の拠点である、

旭ライオンズクラブの深いご友情とご指導により千葉県下では57番目のクラブとして、農業を基幹産業とするわが町に奉仕の灯がともされた。爾来、旭LCを始め、プラザーLCその他多くの方々の暖かいご指導とご支援により、更には先人の尊い英知と共にメンバー各位のたゆまぬ努力により今日の意義ある節目を迎えた。その喜びはメンバー各位の感激とともに万感の想いが察しられた。とくに1979年山田町LCの結成を図るなど、加えてRC・ZC・のスポンサークラブとして、東総の地における確固たる位置付と合せて地域社会における奉仕活動等、その基盤の構築に輝しい実績を残してまいりました。

例会冒頭のあいさつで、L. 金杉会長は15年の節目にあたり「初心忘れべからず」の精神を十分理解し“ウイサーブ”の理念のもと更なる精進を強調された。又、とかく忘れがちな基本をあらためて認識し原点にかえり、ガバナー方針の実践とクラブ活動の活性化に務め、地域社会に貢献する決意を提唱した。続いてご来賓の皆様からのご祝辞を賜り、スポンサークラブ等への記念品の贈呈及び拝受がなされるなど、第1部の記念例会は厳粛のうちに終了された。引き続く第2部の記念特別講演は、韓国から当クラブL. 岩岡Z幹事との旧知の関係にある、309G地区名誉顧問、呉尚根先生の“日本のライオンズに望む”の講演が行われた。先生はハードな日程をさいて来町され、年令を感じさせない迫力に満ちた力強い言葉で多くの聴衆を感動と共に鳴を与え万雷の拍手に答えら



れた。とくに講話の中で「経済大国である日本の活動について」「眞の奉仕を開発途上国に与えてほしいとの要請に加え、「奉仕とは、先ず自分への奉仕を、次に家庭に奉仕を、そして地域社会さらに国家奉仕」とライオニズムの真髓を訴え、その一語一句は鮮明なる日本語により深い感銘とともに、忘れ得ぬ言葉として友情の糸を更に強固なものにされた。

プログラムは第3部の祝宴に入り、実行委員長のL. 高山からの歓迎のあいさつに始まり、第一ZC、L. 鈴木三郎の乾杯、アトラクションは各クラブ代表ならびに来賓各位のカラオケの熱演に移り、その歌声は会場を圧倒し万雷の拍手に変った。時の過ぐるのは早く定刻の午後9時“また会う日まで”的大合唱に続き閉宴のことばにより全てのプログラムが終了。何れにしましても、これを契機として地域社会に密着した奉仕活動に専念し、信頼と友情の輪を広げ羽ばたく門出の更なる日でもあった。

## 第11回中学校弁論大会開催

千鶴ライオンズクラブでは、「生徒の生き方や社会生活への関心を高める言語表現の技能の向上を図ること」を目的とした第11回中学校弁論大会を平成4年2月6日、千鶴中央公民館大会議室で開催しました。

当日は、主催者としてライオンズクラブからは、担当の教育社会委員会を中心に18名の会員と、生徒360名が参加して行いました。

選抜された10名の弁士達は、中学生とは思えない、ものの考え方、社会や自分に対する見つめ方、あるいは将来への希望等を豊かな表現力で発表しました。

その結果、最優秀者に「中学生とはどうあるべきか」を発表した2年生の山田雄一君、優秀者に「高令化社会に向かって」を発表した1年生の渡辺美恵子さん、同じく優秀者に「大きな夢」を発表した3年生の菅谷勝人君がそれぞれ選ばれ、盛会裡に大会を終了いたしました。

## 山田町LC

### 山田町第1回ふれあい祭り

昨年11月3日山田町第1回ふれあい祭りが開催された。長雨を吹き飛ばして素晴らしい、秋晴れにめぐまれる。我がクラブは、献血チャリテーバザー、場内整理に、メンバー大活躍。クラブから寄贈したクズかごは各所に配置され、文化祭会場正面入口にかざられたクラブ寄贈の菊のプランターが訪れる人達にはのぼのとした暖かさをあたえる。

青い芝生の広い会場は6000人の町民が集まり山田音頭発表の三沢あけみさんの歌にききほれた。

幾重にも踊りの輪が広がり、我がクラブレディスのワイン色の制服はライオンズレディスとしての気品をたたえ一際あざやかに、その色どりを添えた。

雰囲気最高潮に達し、場内アナウンスに「ライオンズクラブ会長中央舞台に」を、呼び出され、歌手三沢あけみさんと握手、挨拶を交し、歌のデュエットとライオンズクラブのPRは最高潮に達した。可愛い孫娘も舞台にかけ上り会長冥利に盡する一幕もあった。更にそのスナップ写真が広報 やまだ の表紙に掲載して戴くなど、クラブにとっても会長にとっても素晴らしいふれあい祭りとなった。



### 町民駅伝 ふれあいマラソン大会

毎年此の時期になると、町内の青少年駅伝大会ふれあ

いマラソン大会が開催される。

我がクラブも例年通り、区间賞トロフィー26ヶ、参加賞など持参激励に参加する。

今年は好天に恵まれ、200名以上の選手が走り盛大に開催された。

### 今年度の植栽計画

我が山田町に待望の多目的利用の公民館が12億円の巨費で役場庁舎隣接に建設された。3月25日竣工式の予定である。最後の工事が終り次第、我がクラブからその記念植樹として、町の木キンモクセイを寄贈植樹する事になった。高さ9m、葉張り4m、幹まわり130cmと形最高の大木である。

公民館の偉容に寄り添い町のシンボルとして町民に親しまれると共に、ライオンズクラブの最大のPRとなって永くその名を残す事になりクラブ一同植栽の日を待ち望んでいる。

## 光 LC

### 図書贈呈が呼び水

#### 光町が図書館建設

クラブ結成から6年継続して、光町へ毎年20万円の図書贈呈を実施しており、現在、光町民会館の図書室にライオンズ図書コーナーが設置されております。



小さなクラブの小さなACTですが、光町ではこれが呼び水となって図書館の建設を現在策定進行中です。

光町文化・スポーツの森公園事業の一角に図書館を平成4年に着工平成6年にむけて準備すすめられておりま

す。

我がクラブの6年間累積図書合計は合計120万円ですが、結果的に大きい成果となりました。今後も継続事業として贈呈金額の増も検討してまいります。

## リジョンの貢

5 R

### 木更津中央LC

木更津中央ライオンズクラブ会長田中秀夫教育委員長  
鎌田勝弥では継続ACTの第20回教育奨励賞贈呈式が  
2月19日(水)5時より富士屋ホテルに於きまして石  
川昌市長、市内小中学校の校長先生をお招きして挙行さ  
れました。

受賞対象は

- 1 有益な研究、考察
- 2 すぐれた作品の製作
- 3 秀抜した記録の樹立
- 4 児童・生徒の善行
- 5 学級・学校生活においてその活動の顕著な者に対し  
て教職員4名、児童・生徒25名、団体グループ5組  
が表彰されました。このあと、来賓を交えて受賞者と  
記念撮影をして、なごやかな雰囲気の中、食事をとり  
最後に出席者全員で「また逢う日まで」を合唱して終  
了しました。



### 富津LC

### 第11回新春武道大会

新年恒例の富津ライオンズクラブ主催「新春武道大会」を1月12日(日)に富津市総合社会体育館をメイン会場として、剣道 空手 の競技を行い、第二会場の富津中学校武道場においては柔道競技を開催した当武道大会は回を重ねること11回。毎年参加者も増加し昨年までは富津中学校一ヶ所で開催していたものが、今年から二ヶ所に分かれて開催することになった。

競技開始に先立ち、各チームの入場式に続き主催者を代表し鹿島清太郎富津ライオンズクラブ会長が又御来賓を代表してライオンズクラブ国際協会333-C地区第5RRCL. 松本並びに、富津市を代表し平野富津市助役の両氏が挨拶に立たれ選手達を激励、富津中学校柔道の部 石川裕介選手より参加選手を代表し力強い宣誓があり熱気溢れる大会が開始した。剣道、柔道の団体戦については、富津市を中心とした小中学校及び各武道クラブ



の85チームが参加。空手の個人戦には205名が参加。参観者も含み有に1000名をかに越え各種目、男女、階層別に分かれ熱戦を繰り広げた。日頃鍛えた自慢の技をぶつけあう元気な選手達の気合と闘志で熱気に包まれ大会は無事盛会裡に終了した。

## 上総LC

### 上総ライオンズクラブと水

千葉県君津市上総地区は、ライオンズクラブ国際協会333 C地区5 R 2 Z上総ライオンズクラブの中心ともいえる処である。

上総ライオンズクラブを育んでくれたのが、平将門の三男が築城したと伝えられている久留里城を中心とした久留里である。

さて、久留里には自然の湧水が豊富にある場所で昔から水の里ともいわれている。この周辺の地層は国本層と万田野層との複雑に入り混った地質で北西ないしは北東に傾斜している。この層を巧に使って流出して自然湧水となる。古代から近世に至るまでこの水を利用して集落ができた。久留里の市街地もそうである。近代に至って「突つき井戸」といって掘り抜き井戸が開発され地下数百メートルから自噴水がとれるようになった。これがいわゆる上総掘りといわれて、東南アジアまでこの工法で井戸が普及するようになってきたのである。

久留里では、嘉永年間、上町の横手通りという処に横穴を掘って、湧水を集め八ヶ所の余水桶に水を貯めて共同で利用したといわれている。現在の水道の源点である。

久留里地区の掘抜井戸の水は年間一定した温度で余分な鉱物質が無く醸造にも適している。久留里に造り酒屋の多いのもこれに起因している。

上総ライオンズクラブのチャーターメンバーの一人高沢功ライオンの井戸は地下六百メートルの深さの一枚岩を打ち抜きその下の荒砂層から自噴している。その水量

は毎分百リットルといわれている。

平成三年五月、千葉県薬剤師会の検査センターで水質検査の結果、塩素系、細菌群、硬物質系ともに検出されず、透明度も最上質と折紙をつけられた。

また近くの仲町の掘り抜き井戸は昭和十年六月に索出したもので、深さ六百三十二メートル、出水量、毎分百六十二リットル、かなりの量で六十年近く経た今でもこんこんと自噴している。久留里地区の住民はこの自然の恵を大切にしかも喜々としてこの水を利用している。

上総ライオンズクラブのメンバーも例会ごとにこの水で造られた酒や水でウィサークをしている。

健康と長寿、上総ライオンズクラブのメンバーは自分達を育んできたこの水をいつまでも守っていくことであろう。

高沢功ライオンの家の前の井戸水を朝晩利用している人が絶えないという。



## 君津LC

### 君津LC主催チャリティ事業

3月20日「ボリショイ舞台サーカス」いよいよ迫る！

君津LCは、次期、結成25周年を迎える準備年度として今年は、特にクラブメンバー間の結束を深め、会員相互の連携を密にし、より地域に密着した奉仕活動に精進しようとスタートしました。そして今年度の下期には、チャリティ事業として、君津市民文化ホールに於て「ボ



We Serve

リショイ舞台サーカス」を平成4年3月20日に計画、その準備に1月からとりかかりました。L. 鈴木豊を委員長に実行委員会を編成、ネスクラブ、ブラザークラブ、プレイガイド、学校、公共機関への販売協力をお願いすると共に、メンバー全員がそれぞれのブロックにわかれ、チケット総数2600枚に全力を挙げております。実行委員会においても定期的に集会を開き、チケット販売の現状把握や、ショー当日の各メンバーの役割分担等の打合せについて討議、委員会メンバーの積極的な参加にともない準備の方も着々と進んでおります。

今年度、君津LCの活動は、スタートから積極的に展開、7月Y.E生受入れ、8月チャリティバザー、9月地区ガバナー公式訪問、10月愛の献血、11月ライオンズの森、道路、公園の清掃、12月歳末助け合い募金、運動能力賞授与と続き、そして下期最大のチャリティ事業となる、モスクワ「ボリショイ舞台サーカス」は、メンバー全員の力で必ず成功させようを合言葉に、今クラブ

いま! サーカスは舞台芸術!!

# ボリショイ舞台サーカス

主催:日ソ文化交流委員会  
後援:外務省・文化庁・ロシア共和国外務省・同文化省  
協力:日ソ議員連盟・ソロ文化センター  
招聘:中央放送エージェンシー  
熊5頭・大鷲5羽・猫20羽・総勢50名

主なプログラム(公演時間2時間)  
 ★地上宙返り  
 ★空のミーシャ・大空技  
 ★大鷲とトトロの大円舞  
 ★恋いと奇跡の魔術(約15番組)  
 ★美女の足芭  
 ★頬笑コンビ(選ばれ)  
 ★特別参加! ボリショイサーカスオーケストラ

3月20日(金) 君津市民文化ホール 12:00・3:00  
 会場:君津駅 南口からバス約10分  
 料金:一般自由席 ¥3,000(前売) ¥3,500(当日)  
 大人・小人共通  
 料理:君津ライオンズクラブ・君津ライオネットクラブ  
 チケット:ボリショイサーカス実行委員会  
 購入方法:君津市文化ホール受付 0439(56)3300  
 君津ライオンズクラブ事務局 0438(37)5252

は熱気と活気に包まれております。

## 君津中央LC

### 三島神社に伝承されている棒術、 鞨鼓舞について

県無形文化財に指定されている、三島神社氏子により、棒術、鞨鼓舞は毎年九月二八日当神社祭礼に奉納されています。この行事につきましてはライオンズクラブの皆様方には種々ご援助を戴き感謝申し上げます。

棒術の起源は源頼朝が石橋山の合戦に敗れ、勝山に上陸し当地を通過した時農民に伝えられたと云われています。この棒術は田原流、蓮見流等の流派があり、武器は真剣六尺棒・鎌・木刀が使用されます。これを伝承する氏子らは宿原、奥米、豊英の各区の小学校一年生位の少年から青年の若者により奉納されます。

祭礼について一寸申し上げますと、樹令六百年とも八百年とも云われる杉木立の聳える三島神社の境内で、太鼓と笛の勇壮な響きの中で二人一組による少年達の大刀、青年の真剣による青竹切り等の技が、勇壮に演ぜられています。又鞨鼓舞については日照つづきに困った農民の雨乞に起因すると云われています。

同じ境内で三頭の獅子により優雅な笛の音に合わせ舞う姿は長い伝統と日頃の厳しい稽古により伝承されている事を見る人々に強く感じさせます。



# 活動するライオンズ

## 市川LC

### “北スマトラ大学にて奨学資金支給学生と語る”

さる2月12日メダン市を親善訪問、その折市川ライオンズクラブが30周年記念事業として実施した、インドネシア共和国メダン市の大学生に対する奨学資金支給制度による奨学金をすでに受けている北スマトラ大学の奨学生及び学長、各学部長と会見し、インドネシア共和国の教育の実情など有意義な話し合いをもった。

尚帰国後下期の奨学金を4名に送った。



### “目の不自由な人に愛の手を”

#### チャリティコンサート

333 C地区吉田ガバナースローガン“友情の絆で広げる奉仕”をテーマに当クラブも視力ファースト委員会を新しく設けメンバーにお願いし、何を、アクティビティーすれば良いか検討していました。

“視力ファースト”それは、『失明と闘うライオンズ』をキャッチフレーズに一般市民にどのくらいピーアール出来るか又、どのくらい理解してもらえるかとにかく行動に移してみました。そんな時、我クラブのリジョンチャーマンL. 上原富美夫より盲導犬の話を聞きアドバイ

スを受けさっそく栃木盲導犬センターに視察に行きました。日本盲導犬協会によると、盲導犬の育成は、8団体で年間60~70頭の盲導犬が生まれている。

しかし、盲導犬の育成は難しく訓練した犬の3割前後しか正規の盲導犬になれない。盲導犬の育成には、10ヶ月間の訓練と希望する人が犬と行なう4週間の合宿が必要なうえ、費用は約350万円かかるため、日本ではまだ利用できる人が少ないと知りました。盲導犬によって、ハンデを持った人でも健じょう者と同じ様に外を自由に歩けることを多くの人に知ってもらうために、当クラブでは、10月下旬より80個の募金箱をメンバーの各事業所に設置し、一般の方の協力を呼び掛ける事にしました。

又、チャリティーコンサートを企画し、その収益金とライオンズの事業費で盲導犬を一頭柏市に寄贈する運びとなりました。チャリティーコンサートは、12月7日(土)早稲田大学グリークラブとハイソサエティーオーケストラを招き通常ですと一组だけの公演になるところ、当クラブの趣旨を理解して頂き出演料も考慮して頂きました。チケットは、メンバーがそれぞれ市内クラブはもとより3ゾーン内又、近隣クラブの訪問例会で説明をしたり又、柏市役所福祉部にも協力をお願いし当クラブの趣旨を理解してもらいました。企画から2カ月あまりの短い期間でしたが日に日に盛り上がり12月の第1土曜日で歳末の大変忙しいときにも係わらず当日は約1,000人近くの人が集まりました。又、ガバナー代理をはじめ地区視力ファースト推進委員長L. 川崎忠男、地区視力保護委員長L. 椎名益男、他大勢の来賓が会場に花を添えて頂きました。

コンサート前に盲導犬による安全誘導実演を栃木盲導犬センター所長福岡義明氏と指導員1名で行いました。

会場内ではご来賓及び来場者をはじめメンバーも初の



We Serve

体験に真剣そのものでした。全体で3時間の流れでしたが最後まで席を立つ人もいませんでした。現在は、柏市役所福祉部を通じて盲導犬の贈り主を検討中です。



## 柏中央LC

### 第5回市内書き初め大会

私ども最大のアクティビティであります柏市内小・中学校49校（39、682名）児童・生徒希望者による、第5回書き初め大会を企画し、実行委員会（委員長L鈴木稔）を発足、メンバー各位の協力で行いました。

1月7日（火）柏市民体育館を会場として参加者は1950名の児童・生徒が集まって開かれました。後援は、柏市、柏市教育委員会、市内ライオンズクラブと各報道関係のご協力も取付けました。

当日は、書道道具持参の上、受付にて用紙3枚を受取り、4回に分かれて太鼓の合図と共に、課せられたお手本『かしわ』小学1年から『人生感意気』中学3年迄、各学年のテーマに真剣に取り組んでいました。45分間で3枚を書き上げ、立会いの書道の先生方と相談の上、最高作品1点を提出して頂きました。

## 船橋LC

### 船橋市中学生弁論大会開催記

去る平成三年十一月十六日（土）第五回船橋市中学校

弁論大会を船橋市教育委員会後援のもとに開催致しました。市内全中学生二萬餘の中から最終的に二十二名に厳選された優秀な方々であります。

船橋市の若者育成を心から希う私達船橋ライオンズクラブは、青少年健全育成事業の継続アクトである「船橋市中学生弁論大会」にクラブ挙げて総力を結集いたしました。多くの人達に聞いてほしいと云う願いから、市立御滝中学校体育館に設営行なわれました。「こんな大人になりたい」「これから私達に必要なこと」等、回を重ねる度に、表現力、論旨、説得力、迫力、共に優れ審査に戸惑う程の発表でした。優賞者にはYE派遣生として、海外に派遣大きな眼で外国を見てきてほしいと希望して居ります。大会は終始熱意溢れる中で成功裡に終了する事が出来ました。

願わくば、もの豊かな社会の中で影の部分に常に心して、人の痛みや苦しみの分かる、心豊かな人間に成長して欲しいと思って居ります。

## 船橋ポートLC

### 『地球にやさしく』青少年京葉港見学会

\* \* 平成三年十一月十七日

現在、環境問題を考えるにあたって、いろいろ難しいのは私達大人が身近なところにもなかなか関心を持つことが出来ない、持つ余裕が無いのが一因と思われます。「水の惑星地球」を理解し、現在から未来に至るまで、そして人類はもとより地球生物全部が良好な状態で共存出来ることは皆の願いだと考えます。その考えるきっかけ作りの為に私達船橋ポートライオンズクラブは特に市内近郊の小学校高学年（4～6年生）を対象に絞り、海と生物にふれあう機会を提供し、地球の環境について少しでも興味を持ってもらう手助けを実施しております。私達のクラブの名前に付いた「ポート」にも因み、いろいろな環境問題はあるにしても、まず身近なところで余計な先入観を与えることなくのままの素直なふれあいを持っ

てもらえることに意義があると考えました。本を読み、人の話を聞き、写真等で勉強するものとは違う目や耳や体で学ぶ生きた教本となることを目的とし、学校等でも現場学習がありますがなかなか実施しにくい問題が多くあるものをライオンズクラブで援助出来れば幸です。

今回で京葉港見学会は二回目になりますが当日は二回に分けて総勢百四十名程で船橋漁港より屋形船で見学会が実施されました。おりしも晴天に恵まれ、東京湾の漁の見学や京葉港の紹介を含め海の専門家の解説を付けながら一回に約二時間の航行でした。子供達は自然とふれあい、多数の質問を説明する者に浴びせるほどに至り、私達ライオンズのメンバーは子供達とふれあい、子供達の素直な笑顔を見ることが出来て大成功でした。現在我クラブは今年迎える十周年の為に「海とのふれあい」をテーマにしたビデオを作成しておりますが、このアクティビティもその中のシーンとして写されております。もちろん安全性の確認をしっかりとし、何回も打ち合わせを繰り返し、勉強というよりも楽しんでもらうことに重点をおいておりましたので全員リラックスして参加出来たものと信じております。このアクティビティを単発で終わらせるのではなく、毎回いろいろな催しを考え、テーマを持って向い、クラブで作り上げ一般の人達のイニシアチブで継続し育っていくことを基本方針としております。そして地域の活性化にこれからも貢献していきたいと思います。



## 習志野LC

### 台湾・竹南LCを訪問

11月23日～26日の4日間、当クラブと提携している台湾の竹南LCへ訪問して参りました。提携して以来、竹南LCとは毎年交流を続けています。訪問は毎年11月頃20数名が参加し実施しています。メンバーは年間計画の中に組み込み、その時を楽しみにしているのです。空港へ到着した時、また例会場へ着いた時の歓迎振りにはいつも驚くばかりです。お国柄か国民性なのか、日本の歓迎の仕方とは、全く違うのです。そして目的の例会に参加したのです。新竹から廬山へ向かう途中、九族文化村で伝統ある踊り等を見学しながら少々歴史の勉強をしながら、ホテルへとバスは走ります。富士山より高い



という山間にあるホテルだったのですが、ふと、気がつくと外は既に日が暮れはじめていました。車窓から山間に見えかくれする真っ赤で大きな夕日にメンバーは歓声を上げる程でした。長時間バスに揺られ、皆疲れきっていましたが、この風景を見て、その疲れもふっとぶくらいうれしい景色でした。車内ではガイドが山々の説明をしていましたが、その中で「日本人は、台湾には雪が降らないとお思いでしょうが、この山には雪が降り、この辺はスキーヤーが大勢訪れる唯一の場所なんです。」との話にもびっくりしました。町中の騒々しい所より、心が洗われる清々しい、まるで恋人にあった時のような



We Serve

気持ちに参加メンバーは慕って居たのではないでしょ  
うか。こうして台湾を訪問して感じる事は世界の経済情勢  
は余り良くない情報が多い中で一時の日本のように大変  
心地よい息遣いが聞こえてくるような活気がひしひしと  
伝わってくるものがあります。現在でも人口密度は世界  
2位で中心地はひしめきあっているのだそうですが、そ  
んな台湾の竹南LCとこれからも良き提携クラブとして  
交流を続けて行きたいものです。

## 船橋東LC

11月3日（日）JR津田沼駅前広場にて、献血登録  
街頭PRを実施しました。

風せん・名入ボールペン・ティッシュペーパー等約1000個  
づつを配布しながら、午後1：00～3：00までYEO  
B生2人を含め多数のメンバーの協力で終了しました。



## 春夏秋冬

### 2 R P R情報委員

L. 桜井 留治

わが国の石油にかかる税金が1バレル当たり約21ドル。（石油輸出機構）の基準価格とほぼ同額ということは案外しられていない。とかくOPECの戦略に目を奪われがちだが「石油酷税」にもっと目をむけてほしいと石油業界がPRを展開中 石油関係諸税の平成3年度の負担は、ガソリン経由の引きとり税、消費税、それに湾岸戦争に伴う臨時処置税の合計で約4兆7千億円の巨額に達する。これをバレルに換算すると約21ドルの税負担となると言う。ここで神経をとがらせているのは、湾岸戦争に伴う臨時処置税の扱い。これは今年の3月末までの时限立法だが、最近、大蔵省が歳入の確保策としてその延長をしているとも伝えられたから大変。「戦争が終結したのだから打ち切るのが筋。延長とはなんでもない話し」

と石油連盟の建内保興会長（日本石油会長）は怒る。石油各社の9月中間決算は、どこも増収増益と近年はない好成績を機にした通産公認による価格の月決め方式が功を奏し、末端での値崩れがなかったため。平時はからきしダメだが、戦時になるとさすがに強い石油である。

しかし、好収益といっても業界の売上高計上利益率はわずか1.9%と言われ、製造業の平均5%とは比べものにならない。これに税金の重圧が加われば、せっかくの利益も吹き飛んでしまう。そこで「OPECよりも税金が怖い」と会長を先頭に反税闘争に熱がこもる石油業界だが、果たして勝算は。

## 物故会員（1月～2月）

謹んで御冥福をお祈り致します。

年月日	御芳名	所属ライオンズクラブ	R・Z
1月 6日	L. 松山 拓哉	佐倉	3R・1Z
1月 6日	L. 荒井 元吉	四街道	3R・1Z
1月10日	L. 渡辺 定治	松戸	1R・2Z
1月24日	L. 清水 昭	柏中央	1R・3Z
1月27日	L. 藤田 定男	習志野	2R・2Z
2月 4日	L. 菅谷 喜一	東庄	4R・1Z
2月26日	L. 地引 弘	市原	3R・3Z
2月28日	L. 中山 孝二	野田	1R・2Z

## 編集後記

地区PR情報委員長 L. 蒔田辰男

地区ニュース第5号をお届けします。2月16日千葉幕張メッセLCのチャーターナイトが開催されました。新クラブ及びスポンサークラブ会長Lのメッセージと共に詳しくお伝えしました。1月27日元ガバナー故L. 藤田定男名誉顧問が逝去されました。謹んでご冥福を祈ります。本号のリジョンの頁は4RはL. 勝股 清、5RはL. 中野孝雄両PR情報委員のご努力により、豊富な内容の記事を掲載することが出来ました。最後に、原稿をお寄せ下さいました皆様方に感謝申し上げます。



受付時間 AM8:30~12:00、PM3:30~6:00

休診日 日・祝日・土曜午後

## 泌尿器科・内科

# 津田沼病院

院長 梶本伸一

習志野市津田沼  
1丁目18番45号  
☎0474(79)2 6 1 1(代)





あなたの会社の、元気になりたい。

安田火災です。



〒276 八千代市村上4489

八千代支社

0474-82-9121

HOTEL PACIFIC CHIBA



コングラチュレーションの気持です。

## 平成5年[秋]オープン!



### ホテルパシフィック千葉

千葉市中央区問屋町ポートスクエア

総合案内所 ☎(043)221-6711

京成千葉中央駅バスターミナル側1分



270室のゲストルーム。

8つのレストラン&バー

国際会議、代理店会議、パーティなど

1,500名ものお客様を一度にお迎えできる  
大宴会場をはじめ

大小さまざま10のバンケットホール。

華麗なウェディングシーンを演出する

チャペルと神式、2つの挙式場。

優雅に、新しい千葉にふさわしい

本格派ホテルが誕生します。

#### Restaurant & Bar

ポートタワーを眺望、きらめきの時。

スカイラウンジ／21階

山海の幸、素材の妙に打つ舌鼓み。

鉄板焼レストラン／21階

庭園と茶室、粋を極める伝統の味。

日本料理／6階

格調を誇る、広東料理「楼蘭」の贊。

中国料理／2階

グルマンの垂涎、本格の冴え。

フランス料理／2階

世界の銘酒やカクテル、時との語らい。

メインバー／2階

南欧の微笑、気軽さと温かさ。

カジュアルレストラン／1階

都会派のくつろぎ、優雅な空間。

ロビーラウンジ／1階